写友会だより

会長の挨拶

在校生の皆様、こんにちは！私は、写友会会長の前川政明です。写真科２０期ですので皆様とは４０年近くの歳の差です。現在阿倍野区で撮影スタジオを経営しています。よろしくお願いします。

まずはじめに、写友会とは…写真工芸科と映像デザイン科の全ての卒業生が卒業と同時に属するＯＢ会です。

活動としては、現役在校生の為の講師(土曜授業や技術指導)、オトナ工芸魂への協力参加、工芸会周年行事協力などが主な事業内容です。

この度もう少し在学中の皆様と交流や情報交換が必要と思い、先生方と若い写友会のメンバーのお力を借りて「写友会便り」を発行する運びとなりました。

この「写友会便り」により、ＯＢと在校生の距離感を縮める為に活動状況をそれぞれに情報交換していきたいと考えています。例えば「映像６０年スーパー同窓会」の近況や「オトナ工芸魂の情報」などを掲載しますので、在校生の皆さんは、「〇月〇日から〇〇でグループ展があります！」、ＯＢの方の話を聞いてみたいなどがありましたらこの「写友会便り」を活用していただいたり、先生方を通じて連絡いただければお力になれる事と思います。

今、映像の業界は目まぐるしい進化と変化の時期です世代を超えた情報交換をし、映像デザインそして工芸高校を一緒に盛り上げていきましょう！

イラスト：52Ｐ菱井彩乃

先輩からのメッセージ

昭和３２年(1957)4月、新設された市立工芸高校写真工芸科に入学した。

写真教育に関する設備や施設は何も無く、梶山先生が担任され、伝統の赤煉瓦棟2階で授業が始まった。5月、土田先生が着任され、一部に千葉大学使用の教科書で写真の授業を開始。理解するのに苦労した乳剤理論の特性曲線、組み立てカメラを使ったアオリ方法、両方とも繰り返し叩き込まれた結果、デジタル時代になった現在でも役にたっている。

昭和３３年４月、写真工芸科職員も増員され、９月になって写真科実習棟が完成、本格的な撮影や暗室処理の写真実習が始まった。

昭和３４年８月、同期最初の就職試験を受け、写真関係初出題のため夏休み中に登校し、出された試験問題が掲示板に公表された。

幸い、月末の採用通知で就職決定の第一号となった。

その後、先生方の努力もあり写真工芸科の最初の卒業生達だったにもかかわらず多数の優良企業に就職が決まって、写真の世界に多数の仲間が巣立っていった。

１期３５年卒・中野順夫

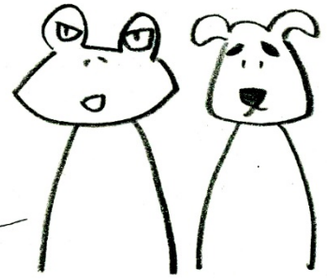
６０周年記念・写友会便りのロゴが決定しました！

６０周年記念ロゴ

１Ｐ野中達也くん

写友会便りロゴ

１Ｐ隅田真悠さん



３学年にチャレンジしてもらいましたが、結果は６０年ロゴが１Ｐ野中君、写友会便りが１Ｐ隅田さん、どちらも一年生が獲得しました！

実技入試の難関を突破しただけありますね！